

町政のここを聞く

質問の一部を要約してお伝えします

質問時間は、一人30分以内
今回は12人が登壇しました。



石原 武志 議員

質問 投票率がこのところ都度低下している。この現状をどう捉えているか。

町長 有権者の注目度や関心度にもよるが現状は十分認識をしている。今後向上に向けた啓発活動を行う必要があると考える。

質問 投票をしやすくするために、車両等による移動投票所を設ける考えは。

町長 二重投票防止や通信インフラの整備により現実化できるが、多額の費用が必要となり困難な現状だ。今後の課題として統廃合などとともに

検討が必要である。

質問 SNSやネット配信など新しい形式が出てきている。より投票しやすい環境づくりや情報発信への取り組みを。

町長 選挙管理委員会でも検討いただき、環境づくりを議論したい。

ホッケー競技について

質問 この夏全国中学校ホッケー選手権大会が本町で開催され、見事横田中学校が優勝し実力を示した。

町長 過去4人のオリンピックを輩出、またアジア大会優勝のホッケー支援策はどのように考えるか

「ホッケーの町・奥出雲町」としての対策は。

質問 島根国体以降現在まで引き続き競技種目を町づくりに推進しているのは本町ぐらいと思う。横田高校やホッケーを中心として町づくりを推進するうえで具体的な状況は。

町長 ふるさと納税サイトで「2020年夢への挑戦」に全国から自治体に参加しており、本町もホッケーの町として全国にPRするために参加した。

質問 来年は横田高校創立百周年と聞いている。記念事業等について内容の説明を。

町長 高校・PTA・稲陵会と町の関係者で実行委員会を立ち上げ検討中だ。来年11月2日に同校に

横田高校百周年事業について

て式典や記念講演・祝賀会を開催する予定。記念事業としてモニュメントの設置やホッケー記念試合、備品などの整備も計画している。



ホッケーを通じて
子どもたちが
世界に挑戦するまちへ

2020年を契機としたまち創り

納税を呼びかける案内カット

町長 過去4人のオリンピックを輩出、またアジア大会優勝の出身者11名も東京五輪を目指している。良質な学習環境、ホッケー留学で魅力化を進め横田高校の振興、発展に取り組みたい。

質問 ホッケー用具の充実・競技場ネットの購入費用150万円を目標にし、現在約6割強の寄付金が寄せられている。

移動投票所等開設の考えは

町長

今後の検討課題と考える